

2001年秋季大会講演一覧

地震活動 (10/24 10:00-12:00)		
A01	Hi-Netデータを加えた北海道北部地域での震源決定	° 田村慎・笠原稔(北大・理・地震火山センター)
A02	震央分布の配列傾向の定量化とそのスケール依存性 Epicenter Alignment and its Scaling Properties	° 戸谷 雄造 (北大理地球惑星)・笠原 稔 (北大地震観測セ)
A03	2000年有珠山の噴火に伴って発生した低周波地震の特徴と震源メカニズム	° 松原わかな・蓬田清 (北大・理)
A04	1983年日本海中部地震 (M7.7) と1993年北海道南西沖地震 (M7.8) の余震活動の比較	° 本谷義信 (北大地震観測セ)
A05	東北地方におけるb値の空間分布ーアスペリティを避ける高b値ー	° 弘瀬冬樹・中村綾子・長谷川昭 (東北大院理)
A06	地震の3パラメーター規模別頻度分布モデルに基づく最大規模M _c の深さ・地域分布	° 馬淵弘靖・大竹政和・佐藤春夫(東北大理)
A07	2000年神津島近海の地震の震源過程について	° 宇平幸一 (海洋科学技術センター)、吉田康宏 (気象研究所)、小平秀一・鶴 哲郎・徐 垣 (海洋科学技術センター)
A08	東海地域推定固着域における地震活動状況の変化 (その4 : Time-to-Failure Function の適用)	° 松村正三 (防災科研)
A09	プレート収束境界付近の地震クラスターの発展過程について	° 野口伸一 (防災科研)
A10	駿河・南海トラフ沿いの海底地震計観測 (その2)	° 青木元・吉田康宏・山崎明・石川有三・中村雅基 (気象研)・原田智史 (文部科学省)
地震活動・地震に伴う諸現象・地震予知 (10/24 13:00-16:00)		
A11	跡津川断層系付近の地震活動と地下構造	° 伊藤 潔・和田博夫・吉井弘治・松村一男 (京都大・防災研)
A12	Double-Difference法による詳細な震源分布 - 気象庁一元化検測値への適用例 -	° 上野寛・野坂大輔 (気象庁地震火山部)・宇平幸一 (海洋科学技術センター)・濱田信生 (気象庁地震火山部)
A13	初期値震源を用いた自動処理による精密な2000年鳥取県西部地震の余震分布	° 千葉美穂・中川茂樹・蔵下英司・卜部卓・平田直 (東大地震研)
A14	2000年鳥取県西部地震 (M _j =7.3) に先行した震源分布のフラクタル次元の特徴的变化	° 村瀬 圭・飯塚 進 (東海大学海洋学部)
A15	四国東部の地震のP波メカニズムの精密決定	° 許斐 直・松村 一男・新井 聡郎*・片屋浩・沂藤 和里 (京都大学防災研・*大阪)

	(序報)	管区气象台)
A16	1997年鹿児島県北西部地震に見られる地震活動の変化：すべり速度と状態変数に依存した摩擦法則にもとづいたトリガリングの議論	° 堀川晴央 (産総研)
A17	南西沖縄トラフにおける地震活動	° 中村衛 (琉球大学理学部)、片尾浩 (京大大学防災研究所)
A18	1999年台湾集集地震臨時観測データによる余震活動	° 永井悟・酒井慎一・平田直 (東大地震研)・黄柏壽 (台湾中央研究院)
A19	有珠山火山性地震に伴う遠隔地岩盤斜面のAE挙動について	° 寺田道直(奥村組技研)・池田憲二(北海道開発土木研究所)・蓮井昭則(間組技研)・中田文雄(川崎地質)
A20	フィリピン海スラブ内地震の活動度時間変化 - スロースリップイベントとの関連性	° 山崎文人・大井田徹・山田功夫 (名大院理)
A21	四国地方の最近の地殻歪み変化と地震活動	° 山科健一郎 (東大地震研)
A22	中規模地震の前震活動 - 関東の地震について -	° 井元政二郎 (防災科研)
A23	応力ステップと応力速度を考慮した地震発生確率予測	° 遠田晋次 (産総研)
地震予知のための科学情報の統合化 (10/25 9:00-12:00)		
A24	地震予知のための物理モデル序説	° 安芸 敬一 (地震予知総合振興会)
A25	桜島火山の噴火予知研究 - 観測・経験則・モデル -	° 石原和弘 (京大防災研)
A26	構成スケール則と実験室内小規模破損から地球内部大規模地震破壊に至るまでの統一的理解	° 大中康譽 (東京大学およびUniversity College London)
A27	応力と速度の関係に関する一つのモデル：地震発生に伴う破碎帯の応力変化と速度変化	° 山本清彦・佐藤凡子・矢部康男 (東北大・院・理)
A28	地震発生環境条件下における岩石のせん断破損構成則の歪み速度依存性(2)	° 加藤愛太郎・吉田真吾・望月裕峰(東大地震研)・大中康譽(東京大学およびUniversity College London)
A29	脆性領域の強度構造に対する歪速度・深度・水の影響：岩石強度に関する室内実験	° 増田幸治 (産業技術総合研究所)
A30	鳥取県西部地震の震源断層破碎帯内のフラクチャ分布	° 下川明子 (名大環境)・田所敬一 (名大理)・水野高志・西上欽也 (京大防災研)
A31	トラップ波による断層破碎帯と断層破壊過程	° 桑原保人・伊藤久男 (産総研)
A32	断層トラップ波の観測による2000年鳥取県西部地震の断層構造の推定 (その2)	° 西上欽也・水野高志・上野友岳・吉井弘治 (京大防災研)・田所敬一 (名大理)・下川明子・三宅 学 (名大環境)
A33	抑制された余震活動の時空間分布	° 尾形良彦 (統計数理研究所)
地震予知のための科学情報の統合化 (10/25 13:00-17:00)		
		° 十文字 平松直浩 (金沢大理) 佐藤隆

A34	地殻内の応力変動と地震波速度変化	白平示允・平松民治（金沢大理）・佐藤隆司（産総研）
A35	地震断層上のすべり関数から求めた応力降下時間と臨界すべり変位	° 三雲 健(メキシコ自治大学)・福山 英一(防災科研)・八木 勇治(東大地震研)
A36	断層間での破壊の乗り移り：応力が深さに依存する場合についての考察	° 加瀬祐子（産総研）
A37	断層の相互作用と幾何学的形状--断層の自発的屈曲を考慮した破壊の動力学的シミュレーション	° 安藤亮輔（東大地震研）・多田卓（科技団科技特研）・山下輝夫（東大地震研）
A38	大陸プレートの内部変形-新潟神戸歪集中帯の成因-	° 飯尾 能久(東大地震研)・鷺谷 威(地理院)・小林 洋二(筑波大学)・塩崎一郎(鳥取大工学部)
A39	震源断層深部すべり過程のシミュレーションモデル-非線形流動と破壊の共存-	° 芝崎文一郎（建築研）・田中秀実（東大理）
A40	津波地震のメカニズムとサイスミックカップリング-Barrier invasion modelの提案-	° 瀬野徹三（東大地震研）
A41	上下変動と辺長変化から推定する1987年東海スロースリップ	° 木股文昭・藤井直之(名大院理)・平原和朗(名大院環境)
A42	2001年東海の異常地殻変動のTime-to-Failure 解析	° 山岡耕春((1)名大院理)・河村 将((2)名大院環境)・廣瀬 仁(1)・藤井直之(1)・平原和朗(2)
A43	上下変動と低周波地震から推定する南海トラフ固着域の先端	° 安藤雅孝・廣瀬仁・藤井直之（名大・理）
A44	糸魚川-静岡構造線北部の地殻変動と牛伏寺断層のパラドックス	° 鷺谷威・西村卓也（国土地理院）・飯尾能久（東大地震研）・多田堯（国土地理院）
A45	サイレント地震とその意義	° 川崎一朗（富大理）
A46	沈み込み帯における巨大地震発生サイクルシミュレーション-コントロールパラメータとそれに対応したモデルパラメータの解釈-	° 光井能麻（名大理）・平原和朗（名大環境）
A47	岩石破壊物理とプレート・ダイナミクスに基づく地震発生予測シミュレーション・モデル	° 松浦充宏（東大理）
A48	地震予知研究の展望	° 平田直（東大地震研）
強震動・地震災害（10/26 9:00-12:00）		
A49	地震発生確率の空間分布（地震危険度）モデルの評価	° 島崎邦彦（東大地震研）・Wahyu Triyoso（東大地震研）
A50	地震のタイプに分類した発生頻度の空間分布のモデル化に関する検討	° 奥村俊彦・南部世紀夫・宮腰淳一・石川裕（清水建設）
A51	1923年関東地震の被害分布と強震動 その4 茨城県内の詳細震度分布	° 武村雅之（鹿島小堀研究室）・諸井孝文（鹿島小堀研究室）
A52	2000年鳥取県西部地震被災域-境港市-における高密度アンケート調査（1）-調査内	° 小山 真紀・太田 裕（東濃地震科学研究所）・西田 良平（鳥取大学工学部）・清野

	容と基礎解析－	純史（京都大学大学院工学研究科）
A53	強震記録と建物被害データに基づいた「計測震度」の提案	◦ 境有紀（東京大学地震研究所）・瀨瀬一起（東京大学地震研究所）・神野達夫（防災科学技術研究所）
A54	スペクトルインバージョン手法による近畿地方の震源・伝播経路・サイト特性の評価	◦ 佐藤吉之・天池文男（竹中工務店）・村上洋介（関西電力）
A55	K-NETデータを用いた中部地方のサイト増幅特性	◦ 小久江 洋輔（三菱スペース）・木下 繁夫（防災科研）
A56	Kik-net強震記録を用いた鳥取県西部地震とその余震のラディエーションパターン及びfmaxの検討	◦ 佐藤智美（大崎総合研究所）
A57	関東地方で発生した地震のスケーリング則（その2）	◦ 大池 美保（三菱スペース）・木下 繁夫（防災科研）
A58	スラブ内地震のスケーリング則（1）－2001年芸予地震と静岡県中部の地震の震源モデル推定－	◦ 森川信之・藤原広行（防災科技研）
A59	2000年10月31日のフィリピン海プレート内のスラブ内地震の震源過程－高周波地震波の励起について－	◦ 笥 楽磨（神戸大理）・山内麻記子（名大院環境）
A60	深さ依存型速度構造におけるグリーン関数を用いた高周波震源過程のエンベロープインバージョン解析－2000年鳥取県西部地震－	◦ 中原 恒（東北大学大学院理学研究科）
A61	Complex Envelopeを用いた複素剛性の非定常変動の評価	◦ 本田利器・澤田純男（京大防災研）
A62	気象庁震度データベースを用いた最大加速度発現時刻の特性について	◦ 福満修一郎・石垣祐三（気象庁）
強震動・地震災害（10/26 13:00-17:00）		
A63	An Efficient Method for Computing Strong Ground Motion in a Layered Half-Space including Static Dislocations	◦ Yoshiaki Hisada (Kogakuin University) and Jacobo Bielak (Carnegie Mellon University)
A64	東南海・南海地震を想定した実用的な3次元差分計算に関する検討	◦ 香川敬生（地盤研究財団）
A65	やや短周期域の震源モデル構築を目指して（1）中規模地震記録を用いた地下構造モデルの改良	◦ 宮腰研・アナトリペトヒン（地盤研究財団）・岩田知孝（京大防災研）
A66	プレート内のQ値について	◦ 前田宜浩・笹谷努（北大理）
A67	足柄平野三次元地下構造モデルによる1990年神奈川県西部地震の地震動シミュレーション	◦ 植竹富一（東京電力）
A68	1923年関東地震の強震動シミュレーション－3次元地下構造モデルによる比較－	◦ 山田伸之・山中浩明（東工大・総合理工）

A69	震源近傍における最大加速度値の飽和現象に関する検討	° 内山泰生・欄木龍大（大成建設）・村上洋介（関西電力）
A70	微動H/V比を用いた強震上下動の計算	° 堀家正則（大工大）趙伯明（地環研）
A71	M8クラス巨大地震のリージョナル距離波形を用いた実時間モーメントテンソル解析	° 福山 英一（防災科研）
A72	明瞭な矩形アスペリティを仮定した断層破壊過程の波形インバージョン法	° 松島信一（清水建設和泉研）・川瀬博（九州大学大学院）・佐藤俊明（清水建設和泉研）・Robert W. Graves（URS Corp.）
A73	震源過程が支配する震源近傍強震動－2000年鳥取県西部地震－	° 関口春子（産総研活断層C）・岩田知孝（京大防災研）
A74	2000年鳥取県西部地震の震源モデルの再検討	° 池田隆明（飛鳥建設・技研）・釜江克宏（京大・原子炉）・三輪滋（飛鳥建設・技研）・入倉孝次郎（京大・防災研）
A75	沈み込み帯沿い地震と内陸地震の断層面積と地震モーメントとの関係	° 石井 透・佐藤俊明（株式会社大崎総合研究所）・Paul G. Somerville（URS Corporation）
A76	強震動予測のための特性化震源モデルの静的応力降下量と実効応力	° 壇一男・佐藤俊明（大崎総合研究所）
A77	強震動予測のための震源モデルの特性化手法の検証	° 宮腰淳一・壇一男（大崎総合研究所）・八代和彦（東京電力）
A78	特性化震源モデルによる1945年三河地震（Mj=6.8）の強震動評価－菊地・他(2001)のインバージョン結果に基づく再評価－	° 入江紀嘉・福元俊一（東京ソイルリサーチ）・釜江克宏（京都大学原子炉実験所）
A79	2000年鳥取県西部地震の強震動シミュレーションによる震源の特性化手法の検討	° 古村美津子・浜田和郎（地震予知振興会）・釜江克宏（京大原子炉）・入倉孝次郎（京大防災研）
A80	地震動予測地図作成プロジェクトの概要	° 藤原広行・河合伸一・石井透・早川譲（防災科研）

2001年インド・グジャラート地震（10/24 10:00-12:00）

B01	2001年インド・グジャラート地震(Mw 7.7)の余震分布	° 根岸弘明（防災科研）・モリジェームズ（京大防災研）・佐藤魂夫（弘前大・理工）・Ramesh P. SINGH（カンプール工科大）・Sushil KUMAR（ワディアヒマラヤ地質研究所）・平田直（東大地震研）
B02	2001インド西部地震のすべり分布	° James Mori（京大防災研）・佐藤魂夫（弘前大・理工）・根岸弘明（防災科研）
B03	インドグジャラート州カッチ地方における地震発生層の深さ	° 佐藤魂夫（弘前大・理工）・モリジェームズ（京大防災研）・根岸弘明（防災科研）
B04	GPS観測から推定された2001年インド・グジャラート地震に付いた断層の断層面	° 宮下芳・K. VIJAYKUMAR・鈴木貴彦（茨城大理）・加藤照之・青木陽介・飯沼卓史（東

	ソニヤフート地震に伴フ糸効的地殻変動	大地震研)・C. D. REDDY (IIG)
B05	Damage of Structures due to Gujarat Earthquake of January 26, 2001	° ヴェンカタラマナ カッタ (鹿児島大・工) 村上ひとみ (山口大・工)
B06	Intensity Questionnaire Survey and Distribution of Human Casualty in the 2001 Gujarat, India Earthquake	° 村上ひとみ (山口大・工)・ヴェンカタラマナ カッタ (鹿児島大・工)
地球及び惑星の深部構造と物性 (10/24 13:00-16:00)		
B07	全 seismic phase 計画	° 神谷 眞一郎 (IFREE)・末次 大輔 (建築研/IFREE)・深尾 良夫 (東大震研/IFREE)・一瀬 建日・大林 政行・東野 陽子 (IFREE)
B08	自動ブロック分割による全マントルトモグラフィ	° 大林政行 (固体地球統合フロンティア)・深尾良夫 (東大地震研/固体地球統合フロンティア)
B09	全マントルS波トモグラフィ	趙 大鵬・° 小野 剛 (愛媛大学・地球深部ダイナミクス研究センター)
B10	「下部マントル不連続面」の検討・再検討	° 川勝均 (東大・地震研)
B11	コア・マントル境界D"層サイレント地震ーその2	° 原誠 (岡大理)・川崎一朗 (富大理)・布野健太郎 (富大理、現Book­off)・今西祐一 (東大海洋研)・舟崎淳 (気象庁)・上垣内修 (気象庁)
B12	Tomography of the Slab boundary under NE Japan forearc and its implications for interplate earthquakes	趙大鵬 (愛媛大学)・° ミシュラ オム プラカシュ (愛媛大学)・三田亮平 (愛媛大学)・海野徳仁 (東北大学)・長谷川昭 (東北大学)
B13	Rayleigh wave group velocity variations beneath the northwest Pacific ocean	° D.D.Singh(Ehime University)・Dapeng Zhao(Ehime University)・O.P.Mishra(Ehime University)
B14	泊(TMR)FREESIA広帯域地震観測点におけるレシーバ関数と地殻・上部マントル構造モデリング	° 平原和朗・山内麻記子 (名大院環境)・渋谷拓郎 (京大防災研)
B15	P-s変換波から推定した日本列島下におけるマントル遷移層の深さとスラブ・プルームとの関係	° 三田亮平 (愛媛大学)・趙大鵬 (愛媛大学)
B16	火山から離れた地域のモホ面付近で発生している低周波地震	° 勝間田 明男(気象庁気象大学校)・鎌谷 紀子 (気象庁地震火山部)
B17	中部地方のフィリピン海スラブの形状と火山活動との関係	° 本多茂喜・中西一郎 (京大理)
B18	海底孔内広帯域地震観測所WP-2 (北西太平洋海盆)からの長期観測データ回収	° 金沢敏彦・篠原雅尚・塩原肇・中東和夫 (東大地震研)・望月将志 (東大生産研)・荒木英一郎・末広潔・三ヶ田均・海宝由佳・平田賢治 (JAMSTEC)

B19	スラブ起源Sp変換波の差分計算	° 小林励司 (愛媛大) ・ 中西一郎 (京大理)
B20	ウェーブレットを用いた全球アドミッタンスの計算	° 木戸元之 (科技団・科技特/海洋科学技術センター)
地震の理論・解析法・地震一般 (10/25 9:00-12:00)		
B21	A Finite Element Approach for Seismo-Acoustic Scattering	° 岡元太郎 (東京工業大学)、谷本俊郎 (UC Santa Barbara)
B22	ノード間に不連続面のある媒質における有限差分法を用いた効率のよい高精度理論波形計算手法の開発	° 水谷宏光 (東大・大学院理学系) ゲラーロバート (東大・大学院理学系) 竹内希 (東大・地震研)
B23	正20面体状グリッドを用いた境界積分法による球状散乱体の3次元地震波散乱	° 蓬田 清 (北大・理) ・ R. Benites (地質核科学研, N.Z.)
B24	レーリー波エンベロープ形成の為の球面上多重等方散乱モデル	° 佐藤春夫・西野真希子 (東北大理・地球物理)
B25	差分法によるトモグラフィーモデルにおける理論波形の計算	° 黒木 文, 趙 大鵬 (愛媛大学・地球深部ダイナミクスセンター)
B26	レイリー波の異常伝播: 山脈下の上部マントルの低速度層の影響	° 吉田満 (東大地震研)
B27	遠地実体波の波形相関による走時測定のための地殻構造補正	° 末次 大輔 (建築研究所/固体地球統合フロンティア) 深尾 良夫 (東大地震研究所/固体地球統合フロンティア)
B28	広帯域地震計P波記録によるリアルタイム地震警報システム	° 坪井誠司・齋藤正徳 (横浜市大理) ・ 菊地正幸 (東大地震研) ・ 小澤寿子・福地潤子 (横浜市大理)
B29	3次元地震波速度構造用非線形震源決定法	° 西 潔 (京大防災研)
B30	複数の先験的拘束条件を持つABCによるインバージョン: 従来の式の誤りの理由と正しい式の提示	° 深畑幸俊・松浦充宏 (東大理学系)
B31	Wavelet変換による振動記録の2階数値積・微分法	° 山崎謙介 (東京学芸大学) ・ 小口雄康 (法政大学)
B32	長周期地震波の透過帯域	° 西田究 (東京大学地震研究所), 深尾良夫 (東京大学地震研究所), 小林直樹 (東京工業大学地球惑星)
B33	インターネットGISに基づいた地震のe-ラーニングシステム	° 蓮沼 賢 (東京学芸大院) ・ 山崎 謙介 (東京学芸大教育)
B34	地震の空間分布における異方性とエントロピー的不均一性を定量的に評価する尺度としての‘シンメトロピー’	° 楠城一嘉 (東大地震研) ・ 長濱裕幸 (東北大理) ・ 淀川英司 (工学院大工)
地盤構造・地盤震動 (10/25 13:00-17:00)		
B35	タブー探索による位相速度の逆解析	° 山中浩明 (東工大・総合理工)
B36	反射/透過係数法に基づく地盤固有周期の近似式	° 澤田純男 (京大防災研), 岸本貴博 (京大大学院)

B37	ボクセル型有限要素法による三次元構造内強震動と地殻変動の計算	° 瀨瀬一起 (東大地震研) ・大野大地 (茨城大理) ・池上泰史 (CRCソリューションズ)
B38	神戸東灘における深層アレー強震観測 - (その1) 地震観測体制の概要 -	° 嶋田隆一 ・松井伴和 (原子力発電技術機構) ・小林啓美 (東工大名誉教授) ・高橋克也 (鹿島)
B39	神戸東灘における深層アレー強震観測 - (その2) 観測記録の概要 -	° 越田洋 ・小田島政廣 (鹿島) ・菊地利喜郎 ・嶋田隆一 (原子力発電技術機構)
B40	走時遅れから見た大阪地盤構造モデルの検証	° 赤澤隆士 ・香川敬生 (地盤研究財団)
B41	濃尾平野における強震動予測のための深層地盤のモデル化 (その1 地質構造と重力によるモデル化)	° 野崎京三 ・池田善考 ・小出栄治 (応用地質) ・福和伸夫 (名古屋大学) ・佐藤俊明 (大崎総合研究所)
B42	濃尾平野における強震動予測のための深層地盤のモデル化 (その2 速度構造の設定)	° 早川 崇 ・佐藤俊明 (大崎総合研究所) ・福和伸夫 (名古屋大学) ・池田善考 (応用地質)
B43	高密度強震観測ネットワークのデータを用いた濃尾平野の深部地盤構造の推定	° 中野 優 (名大 ・ 環境)
B44	濃尾平野の地盤構造モデルと地震動シミュレーション	° 南雲秀樹 ・澤田義博 (名大 ・ 工)
B45	関東平野の基盤構造(その2)	° 鈴木宏芳(防災科研)
B46	深層観測井VSPによるS波速度構造	° 山水 史生 (防災科学技術研究所)
B47	SPAC法によるS波速度構造の推定と各種観測データによる検証	° 津野 靖士(東大地震研) ・ Sos Margaryan(建研国地部) ・ 工藤 一嘉(東大地震研) ・ 神野 達夫(防災科技研) ・ 木下 繁夫(防災科技研)
B48	千葉県西部地域の地下構造調査 (概要)	° 浅尾一己 (千葉県)
B49	八戸市における微動アレイ観測による地盤構造と震動特性	° 坂尻 直巳 (八戸工大)
B50	ポアホール・地表地震計アレイによる石狩平野における地震動の3次元空間分布 (2)	° 吉田邦一 ・ 笹谷努 ・ 笠原稔(北大理)
地震計測・処理システム (10/26 9:00-12:00)		
B51	歪計を用いた長周期地震動の検出	° 大久保 慎人, 浅井 康広 (東濃地震科研), 山内 常生 (名大理)
B52	マイクロマシニングによる超小型地中埋設型マイクロ加速度センサの開発	° 吉田勇作 ・ 鹿熊英昭 (アカシ) 西澤充智 ・ 鈴木学 ・ 浅沼宏 ・ 新妻弘明 ・ 江刺正喜 (東北大)
B53	負帰還型デジタル加速度計	° 木下繁夫(防災科研) ・ 横井 勇(東京測振)
B54	リアルタイム地震情報の多角的活用	° 藤縄 幸雄 ・ 堀内 茂木 ・ 藤原 広行 ・ 松本 拓己 ・ 根岸 弘明 ・ 功刀 卓 ・ 林 能成 (防災科技研)
B55	P波到着・未到着時刻データを用いた即時自動震源決定	° 堀内茂木 ・ 根岸弘明 ・ 林 能成 ・ 松本拓己 ・ 阿部華奈 ・ 高井香里 ・ 藤縄幸雄 (防災科学技術研究所)

B56	Hi-netのRMS振幅をもちいた即時震源決定 [その1]	° 木村尚紀 (防災科学技術研究所)
B57	高感度地震波形データの全国リアルタイム流通システムの開発	° 鷹野澄、卜部卓、平田直 (東大地震研)、笠原敬司、小原一成、堀貞喜 (防災科研)、西出則武、若山晶彦、中澤博志、松森敏幸 (気象庁)
B58	大学の衛星テレメータシステムにおける次の10年	° 卜部卓・鷹野澄・平田直(東大地震研)
B59	差分法による三次元粘弾性波動場計算(3) ー不等間隔格子とPCクラスタによる大規模モデルの計算ー	° 林 宏一・引間 和人 (応用地質株式会社)
テクトニクス・活断層と古地震・津波 (10/26 13:00-17:00)		
B60	日高衝突帯大学合同地震観測：浅部地震活動と衝突テクトニクス	° 勝俣啓 (北大)、和田直人、笠原稔 (北大)
B61	1964年新潟地震に伴う地震時および地震後の地殻変動のモデル	° 上田英樹・大竹政和・佐藤春夫 (東北大学大学院理学研究科)
B62	長野県西部地域におけるストレステンソルインバージョン	° 林能成・高井香里・関口涉次・堀内茂木 (防災科技研)・飯尾能久 (東大地震研)
B63	「伊豆マイクロプレート」は実在するか？	° 石橋克彦 (神戸大都市安全)・井澗陽平 (神戸大院自然)
B64	地震活動と地殻変動から見た東海地域におけるフィリピン海プレートの沈み込み形態	° 細野耕司 (気象庁地予情)・上野 寛 (気象庁地予情) 高山寛美 (気象研究所)・吉田明夫 (気象研究所)
B65	伊豆ー小笠原ーマリアナ前弧域の蛇紋岩海山周辺の地磁気/重力異常	° 木戸ゆかり・藤岡換太郎 (海洋科学技術センター)
B66	東海地方における第四紀伸張応力場の消長	° 山路敦・酒井哲弥(京大理)・荒井晃作・岡村行信(産総研)
B67	スラブに乗った西南日本弧	° 石川有三 (気象研)
B68	南九州に発生した稍深発地震の震源再決定	° 林元直樹(鹿児島大理工)・八木原寛・角田寿喜・後藤和彦(鹿児島大理)
B69	日本列島下の地殻内地震発生層の下限と熱構造	° 田中 明子 (産総研・地質調査総合センター)
B70	日本列島のテクトニクスに関する数値モデリング(2)	° 里嘉千茂 (東京学芸大教育)・Peter BIRD(UCLA)
B71	東北日本の地殻変動シミュレーションー水平歪速度についてー	° 水藤尚 (名大院理)・飯塚幹夫 (RIST)・平原和朗 (名大院環境)
B72	阿寺活断層ドリリング(V)ー阿寺断層系南部セグメント周辺の地盤構造ー	° 小村健太郎・池田隆司・松田達生 (防災科研)
B73	伊予灘東部海域における中央構造線活断層系	° 池田倫治 (四国総合研究所)・七山 太・三浦健一郎・大塚一広 (活断層研究センター)・長谷川正 (総合地質調査)・安間 恵

	海底活断層の断層分布形態と活動性	(川崎地質_)・杉山雄一・佃 栄吉(活断層研究センター)・小林修二(_四国総合研究所)
B74	歴史地震の震源域位置および規模の系統的再検討－第3報－(1596年慶長豊後地震など10地震)	° 松浦 律子((財)地震予知振興会)・中村操・唐鎌 郁夫(防災情報サ)
B75	1911年奄美大島近海地震による津波の規模	° 羽鳥徳太郎
地殻変動・GPS・重力(10/24 10:00-12:00)		
C01	GPS観測に基づくフィリピン海プレート南東部のテクトニクスについて	° 小竹美子・加藤照之(東大・地震研)
C02	2001年から見られる東海地方の異常地殻変動	° 小沢慎三郎、村上亮、海津優、多田堯、鷺谷威、矢来博司、西村卓也
C03	沈降プレート運動による広域地殻変動異常モードの検出	° 田中穰(鹿大理)
C04	GPSデータから推定された1993年北海道南西沖地震の余効すべり	° 福田淳一・宮崎真一・加藤照之(東大地震研)
C05	GPS稠密観測で得られた2000年鳥取県西部地震の余効変動のモデル	° 橋本学・伊藤武男・細善信(京大防災研) 田部井隆雄・大庭健太郎(高知大理)
C06	跡津川断層稠密GPS観測(1997/4~2001/6)	° 大井陽一(名大院理)・平原和朗(名大絵院環)・安藤雅孝(名大院理)・細善信・和田安男(京大防災研)・大倉敬宏(京大院理地球熱学)
C07	西南日本におけるフィリピン海プレートの斜め沈み込みと中央構造線のすべり様式	° 田部井隆雄(高知大理)・高谷卓司((株)プラネット)
C08	GPS稠密観測網でとらえた三宅島火山における脱ガス期の地殻変動	三宅島火山総合観測班(GPS観測グループ)[発表者:° 及川 純, 東大・地震研]
C09	移動性地殻変動の検出の試み	° 伊藤武男 京都大学防災研究所地震予知研究センター 橋本学 京都大学防災研究所地震予知研究センター
地殻変動・GPS・重力・地球化学・地下水(10/24 13:00-16:00)		
C10	Centimeter-level positioning of seafloor acoustic transponders from a deeply-towed interrogator.	° Aaron SWEENEY・C.David CHADWELL・John A.HILDEBRAND・Fred N.SPESS(UCSD)
C11	海底地殻変動観測システム－kinematic GPS解析による船位測定の精度評価(2)－	° 三浦 哲・藤本 博己・村上 栄寿(東北大院理)・長田 幸仁(東大地震研)・C. David CHADWELL(UCSD)
C12	日本海溝におけるGPS/音響測位	° 長田幸仁(東大地震研)・藤本博己・三浦哲(東北大)・Aaron SWEENEY(UCSD)・塩原肇(東大地震研)・John A. HILDBRAND・C.David CHADWELL(UCSD)・金澤敏彦(東大地震研)

C13	音響測距データの連続・高速サンプリングによる海底地殻変動観測	° 三宅学 (名大環境)・田所敬一 (名大理)・佐藤一敏 (京大理)・奥田隆・安藤雅孝 (名大理)
C14	新しいフェーズに入った海底地殻変動観測：長期繰り返し観測の開始	° 田所敬一 (名大理)・三宅学・佐藤一敏 (名大環境)・安藤雅孝・奥田隆 (名大理)
C15	キネマティックGPS解析ソフトウェアの違いにみる位置決定精度の評価ー海底地殻変動観測システムの精度向上にむけてー	° 佐藤一敏 (京大院理)、矢吹哲一朗 (海上保安庁水路部)、三宅学 (名大院環境)・田所敬一・安藤雅孝・奥田隆 (名大院理)
C16	断層モデルによる地表上下変動のパラドックス (1)低角逆断層	° 岡田義光 (防災科学技術研究所)
C17	地表の静的変位への軟らかい表層の影響	° 本多亮・蓬田清 (北大・理)
C18	Dislocation 理論と2000年三宅島火山地震活動に伴う断層モデルの推断	° 孫文科・大久保修平 (東大地震研)
C19	JERS-1/In-SARから得られたアファー南東部のリフト帯における地殻変動場	° 小澤拓・野木義史・澁谷和雄 (極地研)
C20	2001年6月下旬からの箱根の地震活動と周辺観測点の歪・地下水変化	° 吉川澄夫・小林昭夫・山本剛靖 (気象研)
C21	静岡県浜岡観測井における地下水位・沈下データと浜岡町2595の水準データとの関係	° 松本則夫・高橋誠・大谷竜・小泉尚嗣 (産総研)
C22	竜洋観測点で観測された地下水溶存ガス中の二酸化炭素の挙動	° 伊藤貴盛・角森史昭・五十嵐丈二 (東大院理)

地殻構造 (10/25 9:00-12:00)

C23	日高衝突帯超深部探査 (Super-deep Hidaka 2000)：概要と今後の課題	° 津村紀子・伊藤谷生・鈴木和子・菊地伸輔 (千葉大理)・在田一則・森谷武男 (北大理)・齋藤秀雄・川中卓・小澤岳史・井川猛 (地科研)・岩崎貴哉 (東大地震研)・長谷川昭 (東北大理)・阿部信太郎 (電中研)
C24	反射法探査データから推定される日高衝突帯北部の上部地殻構造	° 足立啓二, 岩崎貴哉, 佐藤比呂志, 伊藤谷生 (千葉大理), 武田哲也, 平田直, 森谷武男 (北大理), 高波鐵夫 (北大理)
C25	内部減衰と微細不均質の3次元分布:日高地方	° 平貴昭・蓬田清 (北大・理)
C26	島弧におけるモホ面近傍の微細構造の研究 (その3)	° 飯高隆、岩崎貴哉 (東大・地震研)、吉本和生 (東北大・理)
C27	人工地震と重力異常にもとづく地殻構造-表層地質の影響を考慮した重力異常-	° 原宏史 (金沢大学大学院自然)・河野芳輝 (金沢大学大学院自然)
C28	速度に空間的相関を持たせた走時インバージョン法による東北脊梁山地の3次元P波・S波速度構造の推定	° 松原誠・平田直・酒井慎一・萩原弘子 (東大・地震研)
C29	東北地方で観測されるやや深発地震のS波エンベロープの特徴-火山フロントの東西における周波数依存性の相違-	° 斉藤竜彦・佐藤春夫 (東北大学・理)・小原一成 (防災科研)・大竹政和 (東北大学・理)

C30	東北日本弧のメルト分布域と異方性構造	° 中島淳一・長谷川 昭（東北大・院理）・武井康子（東大・地震研）
C31	レシーバ関数解析による宮城県仙台市周辺の地殻構造の推定	° 吉本和生・岡田知己・長谷川昭（東北大・理）
C32	長町 - 利府断層の深部構造推定 - オフライン測線で得られたディタッチメントフォールトからの反射？ -	長町 - 利府断層の深部構造研究グループ（発表者：° 浅野陽一）
C33	小スパンアレイ観測による長町 - 利府断層の深部構造探査	° 今西和俊・伊藤久男・桑原保人・儘田豊（産総研）
C34	大井沢構造帯の浅部構造変化による地震波形の違い	° 渋谷健雄（山形大・理）・中村洋介（京大・理）・松森敦洋・出町知嗣・長谷見晶子・田中久雄（山形大・理）・中島睦（応用地質株式会社）
C35	稠密地震観測による三宅島浅部構造の推定（序報）	° 松島健（九大島原）・大湊隆雄（地震研）・及川純（地震研）・渡邊篤志（九大島原）・中道治久（地震研）・渡辺秀文（地震研）・長田昇（地震研）
地殻構造（10/25 13:00-17:00）		
C36	海域地震探査／地震観測から見た南海トラフ地震発生帯	° 小平秀一・尾鼻浩一郎・仲西理子・朴進午・金田義行（海技センター）
C37	東海・中部地方における陸域深部地殻構造探査	東海・中部陸域地震探査研究グループ，発表者° 岩崎貴哉（東京大学地震研究所）
C38	愛知県設楽地域における中部日本・海陸統合地殻構造探査発破の稠密アレイ観測	° 佐藤比呂志（東大震研）・伊藤谷生（千葉大理）・Kate Miller（テキサス大）・岩崎貴哉・平田直（東大震研）・大西正純（地科研）・Galen Kaip（テキサス大）・加藤直子（東大震研）・菊池伸輔（千葉大理）・Amy Kwiatkowski（コーネル大）・蔵下英司・河村知徳（東大震研）
C39	新しい散乱重合法に基づく深部地殻構造マッピング - 広角反射法データへの適用 -	° 武田哲也、岩崎貴哉（東大・地震研）
C40	神戸港の反射法探査測線に見られた” 深部反射波” について	° 横倉隆伸（産総研地球部門）
C41	野島断層近傍の S 波群の偏向異方性の時空間変化（2）	° 磯山博士（茨城大理）・桑原保人（産総研）・河原純（茨城大理）・伊藤久男（産総研）
C42	P波走時インバージョンから推定される中国・四国地方の異方性速度構造	° 石瀬素子、小田仁（岡山大）
C43	稠密観測による2000年鳥取県西部地震震源域の3次元速度構造について	° 2000年鳥取県西部地震合同稠密余震観測グループ
C44	オンライン多チャンネル余震観測データに基づく鳥取県西部地震余震域の地殻不均質構造	° 中川茂樹・河村知徳・蔵下英司・佐藤比呂志・平田直（東大・地震研）

C45	パイプロサイス震源データに基づく鳥取県西部地震余震域の地下散乱体分布の推定	° 河村知徳・中川茂樹・蔵下英司・佐藤比呂志・平田直（東京大学地震研究所）
C46	アレイ観測に基づく鳥取県西部地震震源域周辺における散乱係数推定の試み	° 松本 聡(九大・理),小原 一成(防災科研), 木村 尚紀(防災科研),中村 めぐみ(九大・理)
C47	Receiver Function による日本列島下の地殻・マントル最上部構造の推定 -Hi-net を加えて-	° 山内麻記子(名大・環境)・平原和朗(名大・環境)・渋谷拓郎(京大・防災研)
C48	短波長不均質構造が地震波に及ぼす影響 II : 地震波探査の問題点	° 西澤 修(産総研・地圏資源環境研究部門):J. スペッツラ-(デルフト工科大学):C. シバジ(インド科学技術省)
C49	3次元差分法による断層トラップ波のシミュレーション -茂住祐延断層への適用-	° 儘田 豊・桑原 保人・伊藤久男(産総研)・竹中 博士(九大理学研究院)
C50	多変量ARモデルを用いたレシーバ関数解析による1次元速度構造の推定	° 汐見勝彦(地震予知総合研究振興会)・佐藤春夫(東北大・理)・小原一成(防災科研)
岩石実験・地殻応力・地震発生の物理 (10/26 9:00-12:00)		
C51	日本の地殻応力深度分布モデル	° 長秋雄(産総研地圏資源)
C52	変形率変化法による地殻応力測定 -阿寺断層上野掘削井-	° 佐藤凡子・矢部康男・山本清彦・長谷川昭(東北大院・理)
C53	黒雲母が岩石の弾性波速度に与える影響	° 北村圭吾(総研大)・石川正弘・有馬 眞(横浜国立大学)
C54	花崗岩模擬き裂面の安定すべりにおけるAEレートのパラメータ依存性	° 根本克己・森谷祐一・新妻弘明(東北大院工地球)・中谷正生(コロンビア大)・Keith F. Evans(ETH Zurich)・矢部康男(東北大院理)
C55	m値のすべり速度依存性	° 矢部康男(東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター)
C56	How does asperity fracture: an experimental study	° 雷 興林・佐藤 隆司・西澤 修(産業技術総合研究所)
C57	アスペリティ接触の動力学 5. 脆性物質におけるスクラッチング	° 橋本智洋・吉岡直人(横浜市大理)
C58	透過波動による震源核検出の試み, 5. 断層面のdynamic stiffnessの変化	° 岩佐幸治(地震予知振興会)・吉岡直人(横浜市大院理)
C59	アスペリティの連動性ー自由度2の質点バネモデルによる数値実験ー	° 吉田真吾・加藤尚之(東大地震研)
C60	短い静止時間における断層強度回復に関する数値シミュレーション	° 佐藤隆司(産総研)・加藤尚之(東大震研)
C61	微小地震の初期破壊過程 -モデルとパラメータの検討-	° 伊藤 忍(産総研), 伊藤 久男(産総研), William Ellsworth (USGS), 今西 和俊(産総研)

		中心資料
C62	2000年伊豆諸島群発地震の初期破壊過程	° 佐藤和彦・James Mori (京大防災研)
C63	長周期表面波を用いた1998年3月25日南極地震の多重震源解析	° 原 辰彦 (建築研究所国際地震工学センター)
C64	日本内陸部の地震に関するEr/Moの地震規模依存性	° 泉谷恭男 (信州大工)・金森博雄 (カリフォルニア工科大)

地震発生の物理 (10/26 13:00-17:00)

C65	Rupture model of the 1944 Tonankai earthquake from waveform inversion of teleseismic and regional seismograms	° Gene Ichinose, Hong Kie Thio, Paul Somerville(URS Corporation), Toshiaki Sato, Toru Ishii(Ohsaki Research Institute)
C66	気象庁強震計記録による1963年3月27日越前岬沖地震の震源過程	° 菊地正幸 (東大地震研)・中村操・山田眞 (早大理工研)・吉川一光 (気象庁)
C67	気象庁強震計記録による1946年南海地震(M8.0)と1964年新潟地震(M7.5)の震源過程	° 山中佳子・菊地正幸 (東大地震研)・吉川一光 (気象庁)
C68	2001年2月25日福島県沖に発生した地震(M5.8)の発生過程	° 岡田知己・山下哲央・長谷川昭 (東北大理)・小池二郎・高濱聡 (気象庁)
C69	福島県沖のM5.8の地震(2001/2/25)に伴って観測されたMw6.6相当の非地震性すべり	° 諏訪謡子, 三浦 哲, 長谷川 昭, 佐藤俊也, 立花憲司 (東北大院 理)
C70	相似地震の活動から推定された福島県沖プレート境界における非地震性すべり	° 内田直希・松澤暢・長谷川昭 (東北大・理)・五十嵐俊博 (東大・地震研)
C71	1994年三陸はるか沖地震(Mw7.6)の地震時すべり・ゆっくりすべり・最大余震(Mw6.9)	° 八木勇治・菊地正幸 (地震研究所)・西村卓也 (国土地理院)
C72	速度・状態依存摩擦則に基づく slow thrust slip の3次元シミュレーション(その3)-すべり領域の有限性と slow slip -	° 廣瀬仁 (名大院理)・平原和朗 (名大院環境)
C73	摩擦強度の時間効果と媒質の粘弾性の効果を考慮した地震サイクルシミュレーション	° 加藤尚之 (東大地震研)
C74	地震発生の必要条件と長距離相関を作り出すモデル	° 大内徹 (神戸大都市安全)
C75	沈み込み帯で発生する逆断層型地震に対する地球潮汐のトリガー作用	° 田中佐千子・大竹政和・佐藤春夫 (東北大理)
C76	海面高変動・積雪荷重と地震発生の季節性	° 日置幸介 (国立天文台)
C77	周辺域大地震の東海地震の発生時期への影響-シミュレーションモデルによる評価-	° 黒木英州・伊藤秀美・吉田明夫(気象研究所)
C78	地震・火山の連動現象-静的応力変化による考察(1)-	° 西村卓也・鷺谷 威・多田 堯 (国土地理院・地理地殻活動研究センター)

ポスターセッション (コアタイム : 10/24 16:15-17:15)

P001	日本列島における震源メカニズムデータの統合	° カミンズ フィル (JAMSTEC) ・ タウネンド ジョン (スタンフォード大) ・ 堀 高峰 ・ 宇平幸一 (JAMSTEC)
P002	釧路十勝沖海底地震総合観測システムがとらえた地震活動	° 大塚理代 (MWJ) ・ 平田賢治 ・ 杉岡裕子 ・ 藤江剛 ・ 森田重彦 ・ 三ヶ田均 (JAMSTEC)
P003	地震エネルギー解放量と地震再発性の時空間変化からみる地震活動とその地域性	° 戸谷 雄造 (北大理地球惑星) ・ 笠原 稔 (北大地震観測セ)
P004	2000年有珠山噴火時の火山性地震に見られたフラクタル構造の特徴的变化	° 村瀬 圭 ・ 飯塚 進 (東海大学海洋学部)
P005	空白域で発生した地震 -2001年8月14日青森県東方沖地震 (M6.2) -	° 今西和俊 (産総研) ・ 佐藤魂夫 (弘前大理工) ・ 加藤尚之 (東大地震研)
P006	2001年箱根の地震活動	° 酒井慎一(地震研)、棚田俊收(温泉研)
P007	箱根火山における1989年から2001年8月までの地震活動	° 棚田俊收、伊東 博、板寺一洋、代田 寧(神奈川温地研)
P008	東海地震の長期予測に関する一考察	° 松村正三 (防災科研)
P009	べき関数に従い加速度的に増加する地震活動の抽出 (中部地方)	° 河村 将 (名大環境) ・ 山岡耕春 (名大理)
P010	Double-Difference法によって再決定された長野県西部域の震源分布	° 伊藤 忍 (産総研) , William Ellsworth (USGS) , 飯尾能久 (東大地震研)
P011	白山近傍での微小地震観測 その(1)	° 三宅学 (名大) ・ 高橋直季 ・ 石原吉明 ・ 臼井佑介 ・ 浅田哲司 ・ 平松良浩 ・ 古本宗充 ・ 河野芳輝 (金沢大) ・ 東野外志男 (石川県白山自然保護センター) ・ 平田直 (東大地震研)
P012	若狭湾付近における最近の地震活動 Recent Seismicity in and around the Wakasa Bay	° 岡本拓夫 (福井高専) 和田博夫, 平野憲雄, 竹内文朗, 伊藤潔, 渡辺邦彦 (京大防災研) 前澤廣道 (福井高専)
P013	野島断層における極微小地震の発生過程の特性	° 西上欽也 ・ 水野高志 ・ 加納靖之 (京大防災研) ・ 田所敬一 (名大理) ・ 下川明子 ・ 三宅学 (名大環境) ・ 永井 悟 ・ 平田 直 (東大地震研) ・ 平松良浩 ・ 臼井佑介 (金沢大自然科学)
P014	西南日本内陸の活断層に発生する深部低周波地震	° 大見士朗 (京大防災研)
P015	2000年鳥取県西部地震発生前における応力の絶対値の推定	° 吉川佳余 (京大防災研) ・ James MORI (京大防災研) ・ 片尾浩 (京大防災研)
P016	2001年芸予地震とプレートの曲げモーメント	° 佃 為成 ・ 三浦勝美 (東大地震研究所)
P017	九州・別府地溝における地震活動	° 大倉敬宏 ・ 古川善紹 ・ 馬渡秀夫 (京大理)
		° 藤縄 幸雄 ・ 松本 拓己 (防災科技研) ・ 高

P018	地震・火山噴火に関連したELF/VLF帯電磁界変動の観測	橋 耕三 (元通総研)・飯高 弘 (産総研)・高橋 貞夫 (サンコウシヤ)
P019	1992年Landers地震の余効変動における地下水移動の効果	° 向井 厚志 (奈産大法)・藤森 邦夫 (京大院理)
P020	南海地震と東南海地震の時間予測モデル	° 島崎邦彦 (東大地震研)
P021	破壊核形成に伴う流体の移動と流動電流	° 芝崎文一郎 (建築研)・吉田真吾 (東大地震研)・伊神正貫 (富士総研)
P022	Strong Ground Motion Simulation and Building Damage Evaluation during the 2001 Gujarat (India) Earthquake	° ネルソン プリード・新井 洋・久保 哲夫 (防災科研)
P023	Macroseismic Intensity Distribution of the 2001 Gujarat, India, Earthquake Estimated from Building Damage Data	° 久田嘉章 (工学院大)・目黒公郎 (東大)
P024	レーザー関数解析における従来の手法の問題点	° 松澤暢 (東北大理)・宗田靖恵 (シュルンベルジェ)
P025	面的震度分布情報の発表について	気象庁「面的震度分布情報」プロジェクトグループ (° 岩切一宏)
P026	地震計で観測された爆発事故	° 瀨瀬一起・酒井慎一 (東大地震研)・高橋正義 (東京都)
P027	南海トラフの地震サイクルに伴う地殻変動：GPSデータに基づく回顧	° 鷺谷威 (国土地理院)
P028	GPSデータから得られた西南日本のプレート間カップリングと前弧の剛体運動	° 西村 宗 (京大防災研)、橋本 学 (京大防災研)、安藤 雅孝 (名古屋大理)、宮崎 真一 (東大地震研)
P029	GPS連続観測によるカムチャッカ地域の地殻変動	° 丸山 保洋・笠原 稔・高橋 裕晃 (北大理)・E.I.GORDEEV(G.S.,RSA)
P030	えりも岬における高速GPS観測	° 小山順二・本多亮 (北大・理)・金曾貴之 (NEC航空宇宙)
P031	2000年三宅島火山活動のはじまり：ダイク貫入のシナリオ	° 藤田英輔・鶴川元雄・山本英二・岡田義光 (防災科研)
P032	三宅島西方海域での海底地殻変動観測 2001年1月～4月	° 望月将志(東大生産研)・佐藤まり子・矢吹哲一郎(水路部)・吉田善吾・浅田 昭 (東大生産研)
P033	海底地殻変動観測の測定誤差：海中音速構造の時間変化の影響	° 山田卓司 (京大院理)・安藤雅孝 (名大院理)・田所敬一 (名大院理)・佐藤一敏 (京大院理)・奥田隆 (名大院理)・尾池和夫 (京大院理)
P034	鋸山地殻変動観測所における歪観測	° 中尾茂 (東京大学地震研究所)
P035	山崎断層系における伸縮計観測(第2報)	° 板場 智史・渡辺 邦彦 (京都大学防災研究所地震予知研究センター)
		° 中野佑也・室町安樹・平野舟一郎(鹿耳島

P036	鹿児島県北西部における重力探査	下野伸也 白門公樹 下野川 邦(鹿児島大学理学部)
P037	鳥取県西部地震震源域の重力異常	° 本多 亮(金大・自然)、平松良浩(金大・自然)、河野芳輝(金大・自然)
P038	山崎断層全域の重力測定	° 竹内文朗・松村一男・中村佳重郎・渡辺邦彦(京大防)・河野芳輝(金沢大理)
P039	南極昭和基地で観測された短周期潮位変動と超伝導重力計観測に与える影響	° 名和一成(産総研)・須田直樹(広島大)・青木茂・渋谷和雄(極地研)・佐藤忠弘(国立天文台水沢)・深尾良夫(東大地震研)
P040	簡易無線機を用いた水温観測システムの開発	° 宮島力雄・山内常生(名大院理)
P041	地殻内地震発生層の分布と内陸大地震	° 伊藤 潔・吉井弘治(京都大・防災研)
P042	2000年海陸統合地殻構造探査による北海道東部地域の地殻構造	° 蔵下英司・平田直・岩崎貴哉(東大地震研)・仲西理子・金田義行(海技センター)・井川 猛(地科研)
P043	千島海溝～オホーツク海における海陸境界域の深部構造	° 仲西理子・三浦誠一・尾鼻浩一郎・小平秀一・鶴哲郎・朴進午・金田義行(海技センター)蔵下英司・平田直・岩崎貴哉(東大地震研)
P044	反射法地震探査による日高衝突帯南部の超深部構造	° 鈴木和子・菊池伸輔・伊藤谷生・津村紀子(千葉大理)・在田一則・森谷武男(北大理)・齋藤秀雄・川中卓・小澤岳史・井川猛(地科研)
P045	反射法地震探査による日高衝突帯南部地殻構造の解明	° 菊池伸輔・鈴木和子・伊藤谷生・津村紀子(千葉大理)・在田一則・森谷武男(北大理)・齋藤秀雄・川中卓・小澤岳史・井川猛(地科研)
P046	東北日本弧最北部を横断する反射法地震探査	° 阿部信太郎・青柳恭平(電中研)・徳山英一(東大海洋研)・坂井眞一(川崎地質)
P047	三陸沖の地殻構造：反射波強度の面的分布	° 藤江剛(海洋科学技術センター)・笠原順三(地震研)・日野亮太(東北大)・篠原雅尚(地震研)・末廣潔(海技センター)
P048	日本海溝宮城沖前弧域の地震波速度構造(2)	三浦誠一・° 仲西理子・小平秀一・高橋成実・鶴哲郎・金田義行(海技センター)
P049	茨城県沖から房総半島沖にいたる深部プレート構造(その1)	° 木村尚紀・笠原敬司(防災科学技術研究所)
P050	反射法地震探査による嶺岡帯および房総半島南部付加体地下構造の解明	° 三縄岳大・伊藤谷生・津村紀子・宮内崇裕(千葉大)・加藤一(山梨大)・河村知徳(東大震研)・宍倉正展(産総研・活断層研究センター)・鈴木和子・菊池伸輔(千葉大)・加藤直子(東大震研)・浅尾一巳(千葉県庁)・須田茂・太田陽一・井川猛(地科

		研)
P051	北緯31° 伊豆・小笠原沈み込み帯のプレート境界における蛇紋岩化したマンツルの役割	° 上村彩・笠原順三・篠原雅尚・塩原肇・金沢敏彦(東大地震研究所)・日野亮太(東北大理)・藤江剛(JAMSTEC)
P052	海底火山「福徳岡ノ場」における上部地殻構造	° 西澤あずさ・小野智三・大谷康夫・坂本平治・松本良浩(水路部)
P053	中部日本の3次元速度構造	° 中村雅基(気象研), 吉田康宏(気象研), 趙大鵬(愛媛大), 吉川一光(気象庁), 高山博之(気象研), 青木元(気象研), 黒木英州(気象研), 山崎貴之(気象庁), 笠原順三(地震研), 金沢敏彦(地震研), 塩原肇(地震研), 島村英紀(北大), 仲西理子(海洋センター)
P054	発破による茂住祐延断層の微細構造: 概要	° 伊藤久男・桑原保人・今西和俊・木口努(産業技術総合研究所) 西上欽也・水野高志(京都大学防災研) ハスパートル・竹内章(富山大)
P055	淡路島北部の人工地震探査データのトモグラフィ解析	° 出町知嗣・長谷見晶子(山形大・理)・岩崎貴哉(東大・地震研)
P056	稠密余震観測により推定した鳥取県西部地震直後の断層形状と地殻構造	° 青柳恭平・阿部信太郎・宮腰勝義・井上大栄(電中研)・小田義也(都立大)・津村紀子(千葉大)・西田良平(鳥取大)
P057	2000年鳥取県西部地震震源域周辺の3次元速度構造	° 前田好晃・澁谷拓郎(京大・防災研)・根岸弘明(防災科研)・余田隆史(鳥取大学・工)
P058	NMO補正とセンブルス解析による鳥取県西部地震震源域の地殻内反射体分布	° 水野高志・西上欽也(京大防災研)・田所敬一(名大理)・下川明子(名大環境)・加納靖之(京大防災研)・佐藤一敏(京大理)・吉井弘治・上野友岳(京大防災研)・三宅学(名大環境)
P059	九州地方の地殻構造	° 牛尾隆志・小田仁(岡山大)
P060	レシーバ関数インバージョンによる九州の地殻構造の推定	° 村越匠(九州大)・竹中博士(九州大)
P061	エアガン海底地震計探査による甌島西方海域の浅部P波速度構造	° 水原健太郎・宮町宏樹・後藤和彦・八木原寛・平野舟一郎・角田寿喜(鹿児島大理)・西野実・日野亮太(東北大理)・塩原肇・篠原雅尚・金沢敏彦(東大地震研)・植平賢司(九大)
P062	東南極みずほ高原における屈折法地震探査実験(序報) - 第43次日本南極地域観測隊(2001-2002) -	° 宮町宏樹(鹿大)・戸田茂(愛教大)・松島健(九州大)・高田真秀(北大)・高橋康博・金尾政紀(極地研)
		Larry D.Brown (Department of Geological Sciences, Institute for the Study of the

P063	Lithospheric Evolution of Gondwana East from interdisciplinary Deep Surveys (LEGENDS)	Continents, Cornell University), Alfred Kroner (Mainz University, Germany), Chris Powell (Tectonics Special Research Center, The University of Western Australia), Brian F. Win
P064	Recent microseismicity and seismic tomography around the Nekor strike-slip fault in North Morocco	° I. Serrano (Ehime University), D, Zhao (Ehime University), J. Morales (Granada University, Spain)
P065	海半球ネットワーク海底孔内地震観測所WP-2 周辺の地殻構造	° 中東和夫・金沢敏彦・篠原雅尚・塩原肇・山田知朗(東大・地震研) 海宝由佳・三ヶ田均・末広潔・荒木英一郎(海洋科学技術センター)
P066	メトロマニラ(マニラ観測所)で観測された明瞭な反射波について	° 前田直樹, あべき紀男(関東学院大学), Ishmael C. Narag, Esmeralda L. Banganan, Bartolome C. Bautista(PHIVOLCS)
P067	短波長不均質構造が地震波に及ぼす影響I: 物理モデル実験による解析	° 西澤 修(産総研・地圏資源環境研究部門): 雷 興林(産総研・地球科学情報研究部門):C. シバジ(インド科学技術省):福島 洋(東北大学, 現 CTBTO)
P068	グリッド法による表面波トモグラフィ	° 趙 大鵬 (愛媛大学・地球深部ダイナミクス研究センター)
P069	球殻モデルによる大陸移動を考慮したマントル対流数値シミュレーション	° 岩瀬康行(防衛大)・本多了(広島大)
P070	長期広帯域海底地震観測による深部構造イメージングーフィリピン海横断測線と北西太平洋WP-2観測点ー	° 塩原 肇・望月将志・篠原雅尚・金澤敏彦(東大地震研)・米島慎二・望月公廣(東大海洋研)・杉岡裕子・小平秀一(Jamstec)・日野亮太(東北大理)
P071	日本列島直下の減衰係数の推定	° 藤原了・橋本学(京都大学防災研究所地震予知研究センター)
P072	北西太平洋海底孔内地震観測所から得られた記録について	° 荒木英一郎・末広潔・三ヶ田均・海宝由佳・平田賢治(JAMSTEC)・金沢敏彦・篠原雅尚・塩原肇・中東和夫(東大地震研)、望月将志(東大生産研)
ポスターセッション (コアタイム : 10/25 17:15-18:15)		
P073	断層モデルで予測した強震動に基づく地震危険度解析	° 壇一男・金子美香・奥村俊彦(大崎総合研究所)
P074	Earthquake disasters of January 13th and February 13th 2001, El Salvador	° Walter SALAZAR(Tokyo Institute of Technology, Universidad Centroamericana UCA), Kazuoh SEO (Tokyo Institute of Technology)
P075	2000年鳥取県西部地震被災域ー境港市ーにおける高周波数地震動の観測と解析	° 金本宏司・野口竜也・西田良平(鳥大工)・

P075	おける高密度アンケート調査(2)-GISで見る被害状況-	小山真紀・太田 裕(東濃地震科研)
P076	K-NET・KiK-NET強震記録に基づく気象庁計測震度と計測改正メルカリ震度の関係	° 功刀 卓 (防災科技研)・藤原広行 (防災科技研)
P077	KiK-net地中埋設地震計の設置方位の推定 - 中国・四国地方の観測点に対する検討-	° 加藤研一・山添正稔・武村雅之 (鹿島小堀研)
P078	2000年鳥取県西部地震余震群の震源域における強震記録を用いた震源・パス・サイト特性の分離	° 芝 良昭・東 貞成・佐藤 浩章 (電力中央研)
P079	Empirical Estimation of Site Effects and Quality Factor in the Tottori Region: Preliminary Results	° Aaron Moya and Kojiro Irikura (DPRI, Kyoto University)
P080	二重スペクトル比法・スペクトルインバージョン法による近畿地方の伝播経路特性の検討	° 佐藤吉之・天池文男 (竹中工務店)
P081	Envelope inversion of Mw6.9 Kamchatka earthquake using theoretical and average empirical envelope Green's functions	° Anatoly PETUKHIN, Hisashi NAKAHARA, Alexander GUSEV
P082	ポアホール内と地表の地震波エンベロープの比較	° 干場充之(気象庁精密地震観)
P083	3次元動弾性解析のためのボクセル有限要素法(その2)	° 藤原広行(防災科研)・藤枝忠臣(富士総研)
P084	西南日本におけるLg波と表面波の伝播特性(2):2000年鳥取県西部地震の強震記録と3次元数値シミュレーション	° 古村孝志・瀨瀬一起(東大地震研)・BLN Kennett(オーストラリア国立大)
P085	2000年鳥取県西部地震の際の境港市の石油タンクサイトにおける強震動の推定とタンクの応答解析	° 畑山健・座間信作(消防研究所)
P086	広帯域強震動のためのすべり速度時間関数(2)	° 三宅弘恵・岩田知孝(京大防災研)・関口春子(産総研)・入倉孝次郎(京大防災研)
P087	Source Model of the 1999 November 12 Duzce(Turkey) Earthquake using Empirical Green`s Function Method	° Gulum Birgoren,Hiroe Miyake, Kojiro Irikura(DPRI,Kyoto University)
P088	リアルタイム地震動推定及び被害把握システムの開発(その1)面的なリアルタイム地震動推定に関する研究	° 久保智弘、久田嘉章(工学院大学) 大井昌弘、石田瑞穂(防災科学技術研究所)
P089	リアルタイム地震動推定及び被害把握システムの開発(その2)リアルタイム地震被害情報把握システムの提案	° 柴山明寛・鈴木 宏伸・久田嘉章(工学院大学) 大井昌弘・石田瑞穂(防災科技研)
P090	強震動予測計算システムの開発(その3)-地域の経験式作成サブシステム・断層モデル作成サブシステム-	藤原広行・青井真(防災科技研)・° 成田章・早川俊彦(MSS)
P091	鳥取県西部地域の地下構造調査結果	° 法田 浩(工務局)

P091	千葉県四郡地域の地下構造調査結果	浅尾一巳 (千葉県)
P092	SEIS-KANTOネットワークにおけるデータ利用の実際：関東地方での表面波伝播過程のモニタリング	石原 靖 (横浜市大), 菊地正幸 (地震研), 鷹野 澄 (地震研), 山中佳子 (地震研)
P093	鳥取県西部地震直後に東京都内で観測されたやや長周期地震動について	福元俊一・入江紀嘉 (東京ソイルリサーチ)
P094	京都盆地東南部における小スパン3次元アレイ地震観測	岩田知孝・本田利器・入倉孝次郎・佐藤忠信・澤田純男・中島正愛 (京大防災研)・山田浩二 ((株) 阪神コンサルタント)・相澤隆生 (サンコーコンサルタント (株))
P095	阪神・神戸地域の地震基盤に関する一考察 - 1995年兵庫県南部地震の地震動をよりよく理解するために -	栗田勝実・瀬尾和大 (東京工大)・入倉孝次郎 (京都大・防災研)・嶋田隆一 (原子力発電技術機構)
P096	2000年鳥取県西部地震のK-net, KiK-net記録を用いた速度構造評価	東貞成 (電力中央研究所)
P097	Estimation of S-Wave Velocity Structure in the Grenoble Area using the SPAC Method for Array Data of Microtremors.	工藤一嘉・津野靖士 (東大震研)・笹谷 努 (北大理)・堀家正則 (大阪工大)・東 貞成 (電力中央研)・前田宜浩 (北大理)・Bruno Betti g・P-Y. Bard (J.Fourier大)
P098	地震動シミュレーションに海は考慮すべきか? - 数値実験による検討 -	畑山健 (消防研究所)
P099	CHIKAKUモデリングシステム - 地震発生及び地震波伝播予測のための地殻データベース / CADソフトウェア -	金井崇・大石善雄・牧野内昭武・本間高弘・宮村倫司 (理化学研究所)
P100	回転型ACROSSの新制御システム	國友孝洋・熊澤峰夫 (JNC東濃地科学センター)
P101	ブートストラップ法を用いた存否イベント解析の誤差評価	羽佐田葉子・熊澤峰夫 (サイクル機構)
P102	Natural-Neighbour法による不規則空間データの補間	蓮沼 賢 (東京学芸大院)・山崎 謙介 (東京学芸大教育)
P103	海半球ネットワーク海底孔内広帯域観測所 WP-1 - 西フィリピン海盆	篠原雅尚・金沢敏彦・山田知朗・中東和夫・塩原肇・深尾良夫 (東大地震研)・荒木英一郎・末広潔・三ヶ田均 (JAMSTEC)
P104	エアガン水中直達波を用いた海底地震計の水平動成分方位角・設置位置同時決定法	米島慎二 (海洋研), 桑野亜佐子, 日野亮太 (東北大), 中村恭之 (海洋研), 望月公廣, 塩原 肇 (地震研)
P105	東北大学広帯域地震観測網によるモーメントテンソル解自動決定	岡田知己・山下哲央・中山貴史・松澤暢・長谷川昭 (東北大理)・田島文子 (UC, Berkeley)
P106	地震波動場のモニタリングによるリアルタイム地震解析システム (1)	鶴岡弘・川勝均・卜部卓・鷹野澄・山中佳子 (東大地震研)
	数値モデリングによる付加体内部温度構造の	亀山真典・金田義行 (海洋科学技術センタ

P107	推定 - 南海トラフの例 -	ー・固体地球統合フロンティア研究システム)
P108	高感度地震観測網(Hi-net)掘削孔における温度測定 (その3)	° 松本 拓己 (防災科学技術研究所)
P109	本震・余震の高精度震源再決定によるスラブ内巨大地震の同定: 1993年グアム地震と2000年スマトラ地震	° 原田智也 (神戸大院自然) ・石橋克彦 (神戸大都市安全)
P110	微小地震活動から見た三陸はるか沖地震余震域のサイスマテクトニクス	° 米島慎二 (海洋研), 西野実, 日野亮太 (東北大), 佐藤利典 (千葉大), 望月公廣, 塩原肇, 笠原順三, 金沢敏彦 (地震研)
P111	伊豆半島とその周辺地域のテクトニクス	° 多田堯・鷺谷威 (国土地理院)
P112	阿寺断層におけるパイロサイズ水平トモグラフィ	° 大久保 慎人, 青木 治三 (東濃地震科学研究所), 大西 正純 (地球科学総合研究所)
P113	大阪湾周辺反射法地震探査結果と周辺地域の第四紀テクトニクス	° 横倉隆伸 (産総研地球部門)
P114	地震のメカニズムでみる南西諸島の島弧に沿った伸張場	° 久保篤規, 福山英一 (防災科技研)
P115	日本列島の応力場と歪場	° 石川有三 (気象研) ・中村浩二 (気象庁地震予知情報課)
P116	リソスフェアの一様引き伸ばし下における粒径変化と強度分布	° 山崎 雅 (東大地震研)
P117	モンゴル北西部, Bulnay断層について	° 荒井誠一・衣笠善博 (東工大総理工) ・山崎晴雄 (都立大理) ・Amgalan. BAYASGALAN(Mongol Tech. Univ.)
P118	阿寺断層帯の精密重力調査	° 田中俊行・青木治三 (東濃地震科研) ・大下賢一・野崎京三 (応用地質)
P119	中央構造線活断層系の地下構造とセグメンテーションの関係	° 池田倫治 (四国総合研究所) ・趙 大鵬 (愛媛大) ・大野裕記 (四国電力)
P120	鹿児島県北西部, 出水断層帯の活動履歴	° 井村隆介 (鹿児島大学) ・鹿児島県活断層調査検討委員会
P121	鹿児島湾西縁断層の第四紀後期の活動性評価	° 井村隆介 (鹿児島大学) ・鹿児島県活断層調査検討委員会
P122	反射断面図に見られる活断層の形態~カタログ作成および地質との関係の考察~	° 中村洋介 (京大理) ・戸掘範子・長谷見晶子 (山形大理) ・澤 祥 (鶴岡高専)
P123	広域応力場の影響を考慮したDislocation modelによる断層端局所応力場の見積もりと断層分布の解釈への応用	° 楠本成寿 (東海大海洋)
P124	深海圧力計による長期連続観測 - 2001年6月ペルー津波の検出と相模湾初島沖海底地殻変動検出の可能性 -	° 岩瀬良一 (JAMSTEC)

	変動快山の可能性	
P125	断層間物質のベアリング効果の数値シミュレーションによる検証	° 松田裕也(広島大)・岩瀬康行(防衛大)
P126	三角要素を用いた地震の動的破壊のシミュレーションー序報ー	° 福山 英一(防災科研)・多田 卓(科学技術振興事業団)・芝崎 文一郎(建築研究所)
P127	Dynamic rupture process of the Chi-Chi earthquake and its suggestions on friction law	° Wu Changjiang Takeo Minoru Earthquake Reseach Institute University of Tokyo
P128	2000年鳥取県西部地震の初期破壊過程、主破壊過程および余震の地震波形から見る周波数的性質	° 川方裕則(産業技術総合研究所/科学技術振興事業団)、平田美佐子、梅田康弘(京都大学防災研究所)
P129	2000年鳥取県西部地震の初期破壊について(2)-初期破壊と主破壊の震源再決定とスペクトル-	° 平田美佐子・梅田康弘(京大防災研)・川方裕則(産総研/科技団)・伊藤潔(京大防災研)
P130	The characteristics of the dynamic source parameters of the 2000 Tottori-Ken Seibu earthquake	° Wenbo ZHANG, Tomotake IWATA, Kojiro IRIKURA (DPRI, Kyoto University) Michel BOUCHON (Laboratoire de Geophysique Interne et Tectonophysique, Universite Joseph Fourier Grenoble, France)
P131	Estimation of the Dynamic Rupture Parameters using the DEM from the Results of Waveform Inversion	° Luis Angel Dalguer and Kojiro Irikura (DPRI, Kyoto Univ.)
P132	小規模地震の放射エネルギーから推測される深さに対する破壊過程の違い	° 金垂伊・James Mori(京大防災研)
P133	ボアホールデータの補正を加えた高精度な微小地震の地震波エネルギー推定	° 松澤孝紀・武尾実・井出哲・飯尾能久(東大地震研)・今西和俊・伊藤久男(産総研)・関口渉次・堀内茂木(防災科研)・大見士朗(京大防災研)
P134	初動押し引きによる発震機構解と波形解析によるCMT解が大きく異なる地震について	° 堀 貞喜(防災科研)
P135	地球自由振動を用いた未知のイベント探索ー旧IDAデータからの検出	° 須田直樹(広島大理)・名和一成(産総研)
P136	スラブの脱水と地震	° 趙 大鵬・三田 亮平(愛媛大学・地球深部ダイナミクス研究センター)
P137	西南日本で発見された地殻底部低周波微動-フィリピン海プレート沈み込み帯におけるスラブ脱水プロセスの証拠?-	° 小原一成(防災科研)
P138	1946年南海地震のすべり量分布とフィリピン海プレートの形状との関係	° 馬場俊孝・カミンズ フィル(JAMSTEC)・谷岡勇市郎(気象研)・宇平幸一(JAMSTEC)
P139	構造によって規定される南海地震の震源過程	° 堀 高峰・カミンズ フィル・馬場俊孝・金田義行(JAMSTEC)

P140	繰り返し発生する房総半島沖 slow slip ?	° 廣瀬仁 (名大院理)・平原和朗 (名大院環境)・藤井直之 (名大院理)
P141	2001年東海地域のゆっくりすべり	° 藤井直之・廣瀬仁・木股文昭・山岡耕春 (名大院理)・平原和朗 (名大院環境)
P142	東海地域におけるプレートカップリング再検討: -スロースリップによる時間的ゆらぎ-	平原和朗 (名大院環境)・廣瀬仁・° 木股文昭・藤井直之 (名大院理)
P143	余震の二つの異なる破壊様式について	° 山下輝夫 (東大地震研)
P144	断層トラップ波の解析による茂住・祐延, 跡津川断層の深部構造	° 水野高志・西上欽也 (京大防災研)・伊藤久男・桑原保人 (産総研)
P145	Multi-Hierarchies Scaling Nature of Earthquakes	° Anshu JIN (地震予知総合研究振興会)
P146	1999年集集台湾地震に見られたアスペリティの破壊過程の調査	° James Mori (京都大防災研)・伊藤久男 (産総研)・安藤雅孝 (名大理) 馬國鳳 (國立中央大学)・Mark Zoback (Stanford Univ.)

更新日 01.9.1

名前 大会・企画委員会

電子メール アドレス : taikai-kikaku@zisin.gr.jp